



ええ田やなあ

愛川70周年

中津川の悠久の流れに臨み、八菅・仏果の山々の雄大な姿を仰ぎつつ、幾多の先人のご努力に支えられ、愛する郷土「愛川町」は順調に発展を遂げてまいりました。今、私たちが立つこの町の豊穡の大地は、太古から変わらずに降り注ぐ自然の恵みと、惜しみなく捧げられた先人の汗の賜物であります。

愛川町が呱呱の声を上げて70年。そして戦後80年、昭和100年。この節目の年に、今の私たちを見つめ、先人の業績に思いを馳せ、安寧な日々を願いつつ、未来への糧としてまいります。

この記念誌を、そのような温故知新の賦として心に留めていただければ、望外の幸せに存じます。

愛川町長 小野澤 豊

町政70周年記念誌

1955-2025

愛川町は神奈川県東部の東部北側に位置し、東西約10km、南北約6.7kmの中央部がくびれたひょうたん型をした総面積34.28km²の町です。東京から50km圏内、横浜から30km圏内の位置にあり、相模原市、厚木市、清川村に隣接しています。

70年前との比較

- ◆人口と世帯数
昭和30年 10,038人/1,802世帯
令和7年 39,362人/19,631世帯
- ◆予算(一般会計)
昭和30年度 3,885万円
令和7年度 154億円



70年前ココには、神奈川県内でも有数の観光地「中津渓谷」がありました。

四季それぞれにたっぷりと魅力があって
一年中、観光客が絶えることはありませんでした。

そして、平成12年、宮ヶ瀬ダムが完成すると
大迫力の観光放流など、ほかに類をみない「観光ダム」として
勝るとも劣らぬ大勢の人たちが！

変わったけれど、変わらない愛川町の魅力。
ことは、町政70周年。

豊かな大自然に恵まれ、おらかな気持ちで人生を満喫するまちづくり。
これまでも、これからも、その思いはけっして変わりありません。

もっともっと、ええ町やなあ。みなさんと、こいっしょに！

ええ町やなあ
愛川70周年

人文字は町立小学校の児童の皆さんにご協力をいただきました

世相
1955-2014

1955年頃～高度経済成長期のスタート

固定電話・カラーテレビ普及

1960年頃～世界文化との接触が拡大 ビートルズ旋風

フォークソングの隆盛

1976年 ロッキード事件

1995年 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件

2000年頃～ ITバブルとデジタル文化進展

2011年 東日本大震災

1989年～1991年 「バブル景気」の頂点と崩壊

1986年 アニメ躍動期・『ドラゴンボール』放送開始

2008年～リーマン・ショック後の景気低迷

1955-1964

- 1954年 力道山を中心としたプロレスブーム
- 1957年 南極に昭和基地開設
- 1958年 ドラマ『月光仮面』放送開始
- 1958年 関門トンネル開通
- 1958年 「チキンラーメン」発売
- 1958年 東京タワー開業
- 1959年 皇太子明仁親王・正田美智子さんご成婚
- 1959年 伊勢湾台風
- 1960年 カラーテレビ本放送開始
- 1963年 坂本九『上を向いて歩こう』全米1位
- 1964年 東海道新幹線開業
- 1964年 東京五輪開催、「東洋の魔女」金メダル

1965-1974

- 1966年 ビートルズ日本公演
- 1968年 三億円事件(未解決)
- 1969年 東大安田講堂事件
- 1969年 東名高速全線開通(東京～名古屋)
- 1969年 アポロ11号月面着陸
- 1969年 渥美清主演『男はつらいよ』第1作公開
- 1969年 テレビアニメ『サザエさん』放送開始
- 1970年 大阪万博開催
- 1970年 よど号ハイジャック事件
- 1971年 「カップヌードル」発売
- 1972年 札幌冬季五輪開催
- 1972年 あさま山荘事件
- 1972年 沖縄返還
- 1973年 第一次オイルショック

1975-1984

- 1975年 ベトナム戦争終結
- 1975年 沖縄海洋博開催
- 1976年 ロッキード事件
- 1977年 気象衛星「ひまわり(1号)」打ち上げ
- 1978年 成田空港開港
- 1979年 「ウォークマン」発売
- 1980年 日本の自動車生産台数が世界一に
- 1982年 ホテルニュージャパン火災
- 1983年 「東京ディズニーランド」オープン
- 1983年 「ファミリーコンピュータ(ファミコン)」発売
- 1983年 ドラマ『おしん』が社会現象に
- 1984年 グリコ・森永事件(未解決)

1985-1994

- 1985年 つくば万博開催
- 1985年 日航ジャンボ機墜落事故
- 1987年 国鉄分割・民営化でJR各社発足
- 1988年 青函トンネル開通
- 1988年 瀬戸大橋開通
- 1989年 昭和天皇崩御、元号「平成」へ
- 1989年 天安門事件
- 1989年 ベルリンの壁崩壊
- 1991年 雲仙・普賢岳の火砕流災害
- 1991年 ソ連崩壊
- 1993年 サッカー・リーグ開幕
- 1993年 皇太子徳仁親王・小和田雅子さんご成婚

1995-2004

- 1995年 阪神・淡路大震災
- 1995年 地下鉄サリン事件
- 1996年 在ベルー日本大使公邸占拠事件
- 1997年 東京湾アクアライン開通
- 1998年 長野冬季五輪開催
- 1998年 サッカーW杯日本代表初出場
- 2000年 「ミレニアム」ブーム
- 2001年 アメリカ同時多発テロ事件
- 2002年 学校週休2日制の完全導入
- 2002年 サッカーW杯日韓大会開催
- 2003年 イラク戦争勃発
- 2004年 新潟県中越地震
- 2004年 インドネシア・スマトラ島沖地震

2005-2014

- 2005年 愛・地球博開催
- 2006年 山中伸弥教授のグループが「iPS細胞」作製に成功
- 2007年 郵政民営化
- 2008年 「iPhone」国内発売
- 2008年 リーマン・ショックによる世界的金融・経済危機
- 2009年 裁判員裁判制度開始
- 2010年 小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶり帰還
- 2011年 東日本大震災
- 2011年 女子サッカーW杯「なでしこジャパン」初優勝
- 2011年 テレビが地上デジタル放送へ移行
- 2012年 東京スカイツリー開業
- 2013年 富士山が世界文化遺産に登録

「あの頃」を懐かしみながら



あなたの愛川史をふりかえってみては？

戦後10年 1955 愛川町誕生 昭和30年
 戦後20年 1965 昭和40年
 戦後30年 1975 昭和50年
 戦後40年 1985 昭和60年
 戦後50年 1995 平成7年/昭和70年
 戦後60年 2005 平成17年/昭和80年
 戦後70年 2015 平成27年/昭和90年



愛川、高峰、中津。3つの地域がひとつになって新しい愛川町が誕生。まちづくりがどんどん進んでいきました。

豊かな自然や文化を守りながら、病院誘致や圏央道開通により利便性が向上。より暮らしやすく魅力的なまちに進化していきました。

愛川町
1955-2014

1955-1964

- 1955年1月 愛川町と高峰村が合併
- 1956年9月 中津村を編入合併
- 1958年5月 新町建設計画が町議会で議決
- 1961年6月 相模陸軍飛行場跡地に工業団地造成の構想が県から示される
- 1962年6月 都市計画法の適用で、町全域が都市計画区域となる

1965-1974

- 1966年4月 神奈川県内陸工業団地完成
- 1968年5月 春日台誕生
- 1968年6月 町総合計画策定
- 1970年4月 救急業務開始
- 1971年9月 町の花「つつじ」町の木「かえで」決定
- 1974年4月 美化プラント運営開始

1975-1984

- 1975年 4月 役場庁舎完成
- 1975年10月 国道412号半原バイパスが完成
- 1978年12月 宮ヶ瀬ダムに関する基本計画決定
- 1981年 5月 町民憲章制定
- 1983年 1月 文化会館オープン
- 1984年 6月 宮ヶ瀬ダム建設事業に伴う損失補償基準調印式

1985-1994

- 1986年3月 衛生プラント運営開始
- 1987年2月 長野県立科町との友好都市提携
- 1987年3月 第1号公園体育館オープン
- 1989年1月 福祉センターオープン
- 1989年4月 「町民みなスポーツの町」宣言
- 1989年4月 田代運動公園オープン
- 1989年8月 ラビンプラザオープン
- 1992年5月 町の鳥「カワセミ」決定

1995-2004

- 1995年 7月 町内循環バス運行開始
- 1995年 8月 「平和の町」宣言
- 1995年10月 レディースプラザオープン
- 1996年 4月 三増公園陸上競技場オープン
- 1997年12月 愛川聖苑運営開始
- 2000年12月 宮ヶ瀬ダム完工式
- 2002年 4月 県立あいかわ公園オープン

2005-2014

- 2005年 3月 新消防庁舎完成
- 2007年 3月 町民活動サポートセンターオープン
- 2009年 4月 郷土資料館オープン
- 2009年 5月 愛川北部病院誘致
- 2011年 3月 東日本大震災発生、被災地への人的支援など実施
- 2011年 4月 町道幣山下平線開通
- 2011年10月 観光キャラクター「あいちゃん」誕生
- 2013年 3月 圏央道「相模原愛川インターチェンジ」開通
- 2013年 5月 愛川ソーラーパークオープン
- 2013年10月 健康プラザオープン



2016年 北海道新幹線(新青森～新函館北斗)開業

2016年 熊本地震

2019年「令和」時代が始まる

2022年 ロシアがウクライナに侵攻

2024年 能登半島地震

2025年 大阪・関西万博開幕

世相

2015-2025

直近10年をふり返ってみました!

戦後80年

2025

令和7年/昭和100年

愛川町

2015-2025



懐かしの学び舎



観光・産業連携拠点として整備が進む半原水源跡地跡地



若者たちの音楽祭



多目的広場



温かい中学校給食



宮ヶ瀬ダムナイト放流

- 2015年 7月 愛川ブランド創設
- 2015年12月「若者たちの音楽祭」初開催
- 2016年 7月「健康のまち」宣言
- 2016年 8月 小・中学校の普通教室にエアコン設置
- 2016年11月 全国的に珍しい「宮ヶ瀬ダムナイト放流」初開催
- 2017年 4月 小・中学校にインクルーシブサポーター配置
- 2018年 7月 子育て世代包括支援センター設置
- 2019年 7月 県内初の準農家制度開始
- 2019年10月 台風19号により城山ダムが緊急放流、避難指示発令

●2020年 1月 神奈川県初の新型コロナウイルス感染者確認

- 2020年 9月 親子方式による「温かい中学校給食」開始
- 2021年 2月 田代運動公園「スケートパーク」オープン
- 2021年 3月 町立小・中学校の児童・生徒に1人1台の学習端末を整備
- 2021年10月 旧半原小学校木造校舎(県内最古の木造校舎)を活用した「懐かしの学び舎」開館
- 2022年 4月 田代運動公園に複合遊具設置
- 2022年 5月「水道みち」にフラワーロード整備
- 2022年11月「ねんりんピックかながわ2022」開催(本町の種目:将棋)
- 2022年11月 ドミニカ共和国へ高規格救急車寄贈
- 2023年 9月 小児医療費助成の対象を18歳まで拡大
- 2024年 1月 能登半島地震発生、被災地への人的支援など実施
- 2024年 6月 民間事業者による移動スーパー事業開始
- 2024年 7月 多言語機能別消防団創設
- 2024年10月 第2号公園「バスケットボールコート」オープン
- 2025年 1月 町政70周年を迎え、各種記念事業をスタート
- 2025年 4月 神奈川トヨタ自動車株式会社と「観光・産業連携拠点整備に関する基本協定」締結
- 2025年 7月 第1号公園「多目的広場」オープン

2020年～コロナパンデミック

→緊急事態宣言・行動制限・ワクチン対応など社会が大きく変化

2019年の年末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

そして翌年、横浜港に寄港中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の船内で乗員・乗客が次々に感染 100年前のスペイン風邪以来のパンデミック 人類を再び不安と恐怖の底に落とすコロナ禍との戦いが始まった



感染予防を徹底した救急業務



愛川北部病院の発熱外来



ワクチン接種開始



～感染症と戦った、愛川町の1208日～

新型コロナパンデミックがもたらした災禍はまさに未曾有であり、感染拡大の抑制はもとより、経済対策、日々の町民生活の支援策や新しい生活スタイルへの移行など、町でも様々な危機に対峙してきました。こうした中で、高齢者のワクチン接種予約を町が一括で行う独自の方法により、接種を円滑に進めたほか、全国的に修学旅行が中止となる中、本町では感染状況をみながら適切な時期に全小・中学校の修学旅行を実施することができました。このほかにも前例のない状況の中で、ひとつひとつ対策を積み重ねながら、この未曾有の危機を町民皆様のご協力をいただきながら乗り越えていきました。

- 2020年 2月 全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大、庁内情報連絡会設置
- 2020年 3月 町立小・中学校を休校(同年5月まで)
- 2020年 4月 文化会館などで次亜塩素酸水の配布開始
- 2020年 4月 緊急事態宣言が初発令、町対策本部設置
- 2020年 4月 感染対策として中津川河川敷、県立あいかわ公園駐車場閉鎖
- 2020年 4月 「つつじまつり」中止(以降、イベントの中止が続く)
- 2020年 5月 新型コロナ緊急対策第1弾の補正予算可決
- 2020年 6月 町独自の支援策「中小企業・個人事業者支援金」初回給付
- 2020年 6月 救急車に車内の除染・除菌ができるオゾン発生装置設置
- 2020年 9月～感染防止に万全を期して町立小・中学校の修学旅行実施
- 2020年10月 地域振興券「あいかわ景気盛り上げ券」(第1弾)を全町民に配布
- 2021年 2月 自宅療養中の方への買い物支援やごみ出し支援開始
- 2021年 2月 町保健師4名を県厚木保健福祉事務所へ派遣
- 2021年 2月 正午のチャイムに合わせて、日本語・スペイン語・ポルトガル語での感染予防メッセージ放送
- 2021年 5月～ワクチン集団・個別接種開始
- 2021年 7月 東京2020オリンピックが1年遅れで開幕、聖火リレーに替わり「トーキョー」形式で聖火を繋ぐ
- 2021年 8月 県立あいかわ公園「風の丘」で東京2020パラリンピックの採火式実施
- 2021年10月 ふるさとまつり代替事業として「ふるさとあいかわ イチ推しグランプリ」開催
- 2021年10月 河川敷の封鎖が解除、解除前にはソロキャンパー団体と町職員が河川敷の草刈りや清掃を実施
- 2022年 1月 「密」を防ぐため2部制で「成人式」開催、昨年の新成人を対象とした「再開のつどい」実施
- 2022年 5月 3年ぶりに行動制限のない大型連休で観光地が賑わう
- 2022年10月 規模を縮小し、3年ぶりに「ふるさとまつり」開催
- 2022年10月 3年ぶりに「宮ヶ瀬ダムナイト放流」開催、コロナ禍前の倍以上となる約8千人が応募
- 2023年 5月 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「2類」から「5類」に変更、町対策本部廃止



閉鎖された中津川河川敷

新型コロナとの闘い

ええ町やなあがもっといっぱい町へ



トカゲとかバッタがいっぱいいるんだよ!
(田代保育園の皆さん)



子どもも大人もスポーツが身近にある町です!
(神奈川県内陸工業団地の皆さん)



いつの間にか、ママ友・パパ友がたくさんできました!
(子育て支援センター利用者の皆さん)



色々な外国料理が食べられるところが好き
(愛川町ありんこ作業所の皆さん)



苦手なパソコンを楽しいパソコンにしてくれる町
(あいかわ町民活動サポートセンター利用者の皆さん)



言葉の壁を超えて活躍できる、そんなところがスキ!
(多言語機能別消防団の皆さん)



角田小沢地区で発見された約300万年前のアケボノゾウの復元骨格

私が選んだ1枚

時代のウチウチの中で幾度となく 姿を変えてきた愛川町

膨大な古写真から選んだ一枚の秘密

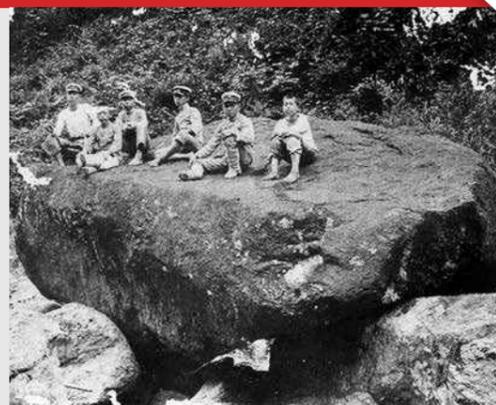
愛川町郷土資料館
学芸員セレクション

- 山口研一 ■ 相模陸軍飛行場
- 藤田 裕 ■ 中津溪谷
- 岩田慎平 ■ 三増獅子舞

02 サツキ咲き乱れる名勝「中津溪谷」

司会: 次に、藤田学芸員が選んだ写真を教えてください。

藤田: 私が選んだのは、宮ヶ瀬ダムができる前に観光地として賑わった、かつての中津溪谷の写真です。



司会: このころは、まだ宮ヶ瀬ダムもなくて、溪谷の景色がそのまま残っていた時代ですね。

藤田: 中津溪谷のすごいところは「溪岸植物の宝庫」だったことです。自然好きにはたまらないポイントです。



01 台地の大変身劇「相模陸軍飛行場」

司会: では、山口学芸員、選んだ写真を教えてください。

山口: 私が選んだ写真は中津の内陸工業団地にかつて存在した「相模陸軍飛行場」です。元々は桑畑が広がる農村地帯でしたが、太平洋戦争が始まる直前、突如として陸軍の飛行場が建設されることになるんです。

司会: どういう経緯で?

山口: 昭和15年に軍が計画を公表し、昭和16年に飛行場が完成しました。

司会: どんな機体が飛んでいましたか?

山口: 飛行学校の分教所として、練習機が飛ぶ教育の場でした。ただし、戦況が

悪化すると学校は閉鎖され、四式戦闘機「疾風(はやて)」の訓練基地に切り替えられました。

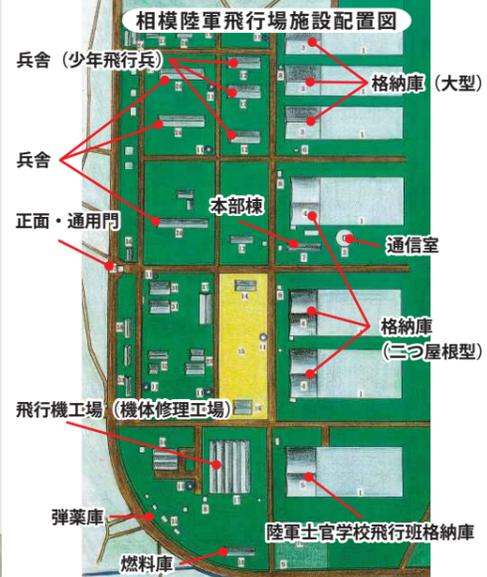
司会: 「疾風」は大戦後期の主力機として名を知られた戦闘機ですね。

山口: そうですね。ここから戦地へ出撃していたんです。

司会: まさに軍の拠点のひとつだったんですね。

山口: 戦後は兵舎が校舎となり、旧中津中学校として生まれ変わったんです。

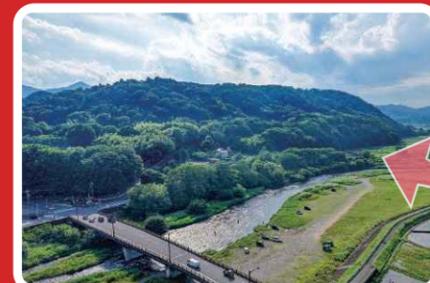
司会: すごい転換ですね。



山口: その後、飛行場跡地が開拓農地を経て内陸工業団地になったわけです。戦争の遺構が、町の発展の基盤になったんですね。

司会: なるほど。内陸工業団地にはそんな歴史があったんですね。

今も残る飛行場の遺構



戦争末期、国内体制も決戦非常措置が叫ばれ、八菅山地区では木炭の増産自給のため、神木、社寺林などを伐採しました。

- ①排水路橋 ②通用門 ③正門(移設後)
 - ④格納庫基礎 ⑤通信室
- (②~⑤は私有地です。無断立ち入りなどをご遠慮ください)



左から藤田学芸員、岩田学芸員、山口学芸員

03 受け継がれる祈りの舞「三増獅子舞」

司会: では、最後に岩田学芸員、選んだ写真を教えてください。

岩田: 私が選んだ写真は、三増地区に古くから伝わる伝統芸能「三増獅子舞」です。

司会: この獅子舞の特徴は?

岩田: 三頭の獅子が舞う古式ゆかしい一人立ち三頭獅子舞の形です。バンパの音頭と笛師の合図にあわせて、歌師が二十三連の歌を繰り出すのですが、それにあわせて獅子が太鼓を打ち鳴らしながら舞うという、昔ながらの演舞が特徴です。

司会: 二十三連って、ずいぶん長いですね。



岩田: 見ごたえがありますね。また、昔は村の「掟」で神社を中心に一町(110メートル)の範囲から出てはいけない決まりがありました。神様に舞を捧げる神聖な行事ですからね。

司会: それだけ大切にされてきた舞ですが、これまで途絶えてしまったことは?

岩田: 明治時代の大火事で詳しい由来や歴史が分からなくなってしまいました。

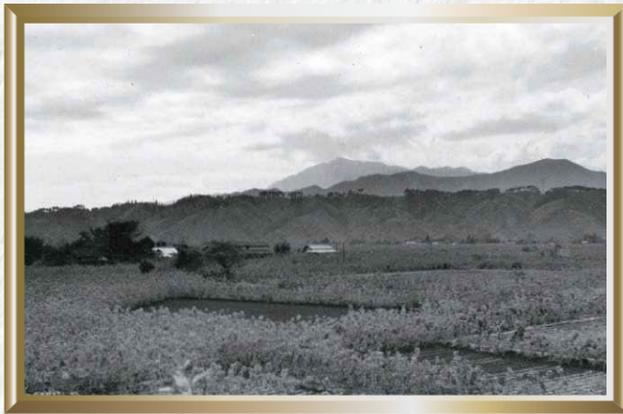
司会: どうやって復活したんですか?

岩田: 昭和3年ごろ、古老たちの記憶を頼りに復活しますが、戦争で中断し、その後、昭和30年に再び復活しました。

司会: ちょうど新愛川町の誕生と同じ時期ですね。

岩田: この舞は地域の皆さんによって守り伝えられてきました。これからも末永く受け継いでいただきたいと思います。





昔は養蚕が盛んで、箕輪には桑畑が広がっていました。写真中央の場所にはその後、愛川中原中学校が建ちます。



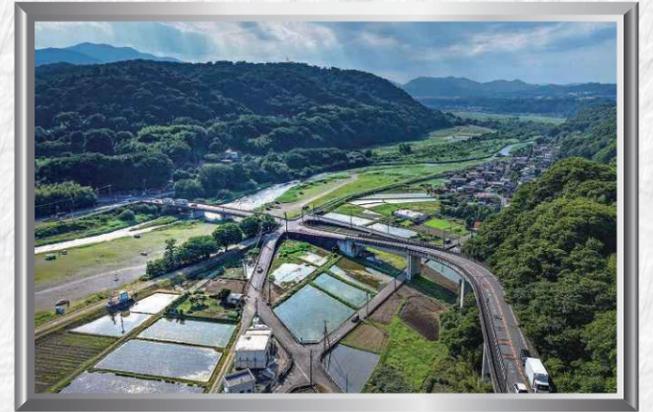
100年前の小沢。左は諏訪神社、奥には相模川に架かる高田橋。神社の石段など今も面影が残っています。



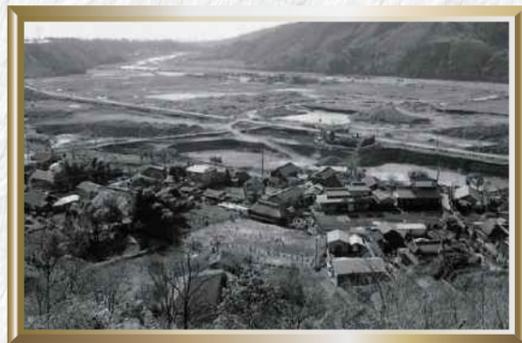
見事な桜が咲いていた桜台。周辺に建物はありませんが、今では住宅街へと変わりました。



下谷八菅山に広がる水田。昔は八菅橋だけでしたが、後に中津大橋が架かりました。



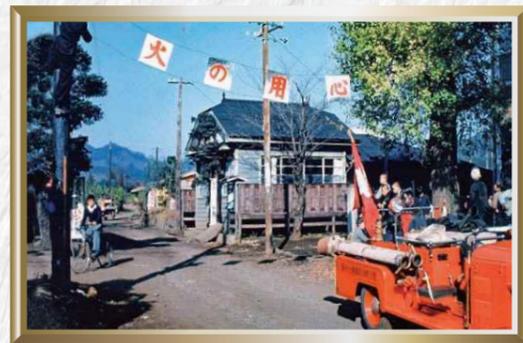
愛川町が誕生した頃の古写真の情景を撮りに **愛川今昔写真館** でも、ドローンのおかげで撮れた絵数多く



土地改良が進む箕輪耕地。写真の左側に見えるのは水道坂。17ヘクタールに及ぶ整備により、今の箕輪耕地が完成しました。



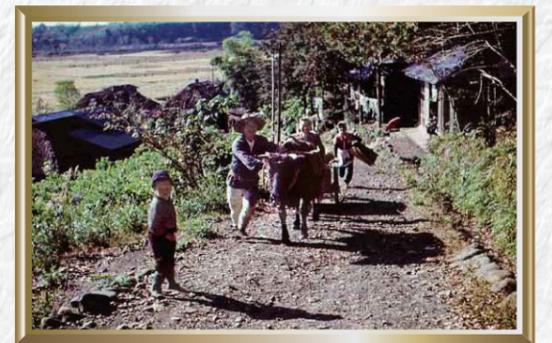
三増にある中原バス停と「本厚木駅行」の神奈中バス。砂利道を走っていた昔のバスのカラーは今と似ています。



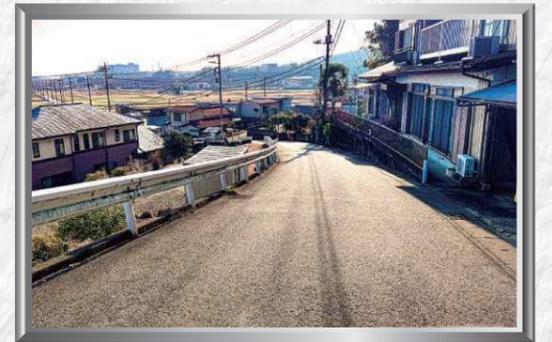
高峰小学校付近の道路。写真中央部の建物は旧高峰郵便局。現在、郵便局は移転し、道路は広く綺麗になりました。



高峰小学校の敷地内にあった高峰中学校。愛川東中学校の開校とともに廃校となりましたが、正門は今も小学校に保存されています。



砂利道の坂本・吹上坂。牛を使って坂を登る人々の後ろに広がる水田は今も変わらず残っています。

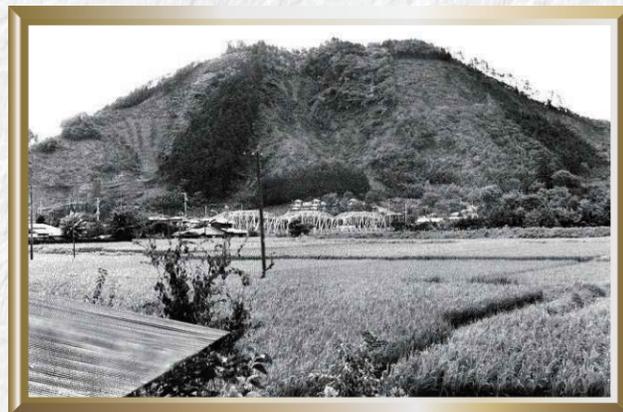




昭和40年代の神奈川県内陸工業団地。今では物流の拠点としてたくさんの企業が操業し、周辺には住宅が多く立ち並んでいます。



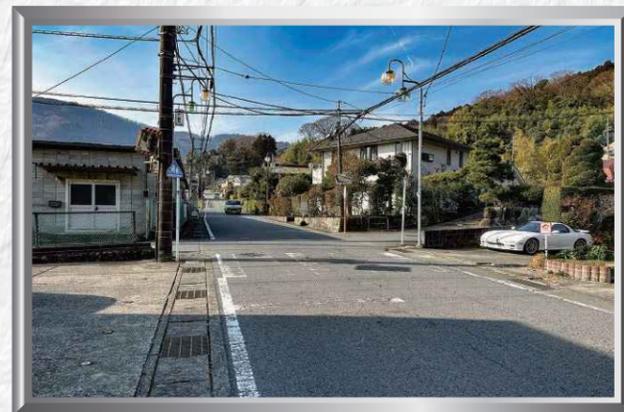
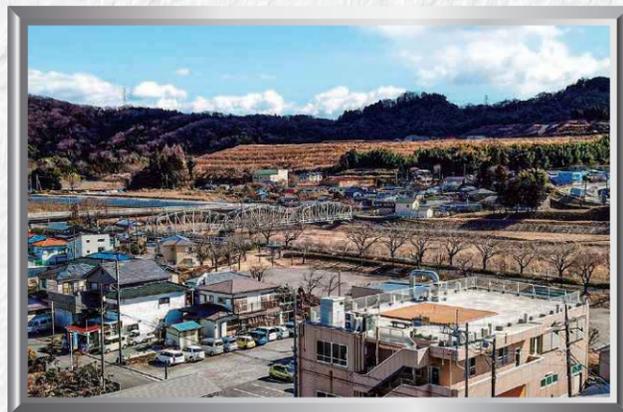
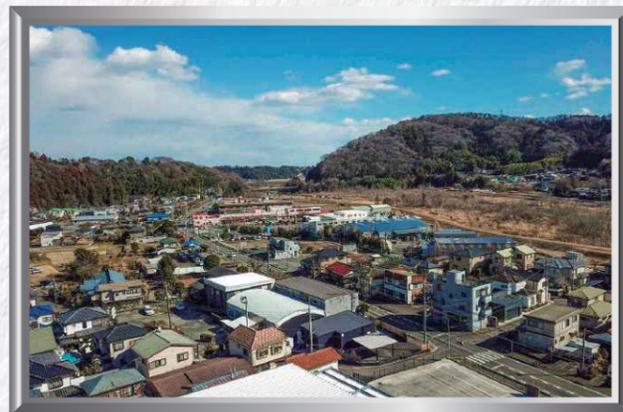
戸倉にあった奈良撚糸工場。周辺には水田が広がっていました。今では、住宅などが増えましたが、山々の景色は変わっていません。



写真中央部に見えるのは田代の平山橋。後ろには大きな館山がありました。50年間の採石で削られましたが、今後、桜の名所として整備する予定です。



川北青少年広場付近の道路を歩くお嫁入の女性。道路は舗装され、すっかり綺麗になりました。

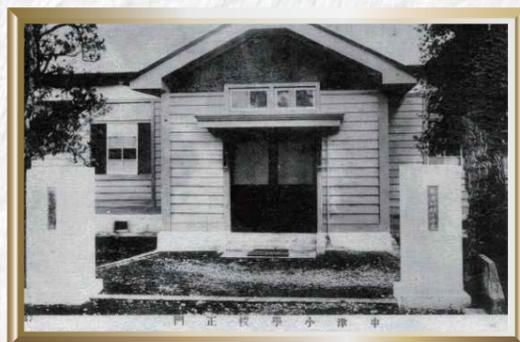


愛川今昔写真館

かつて桑畑や撚糸工場、水田が広がっていた愛川町。中津では企業と住宅が立ち並ぶ町へ、田代では景観を残しつつ暮らしが変化。半原では古き良き建物が今も残り、中津溪谷は宮ヶ瀬ダムへと生まれ変わりました。



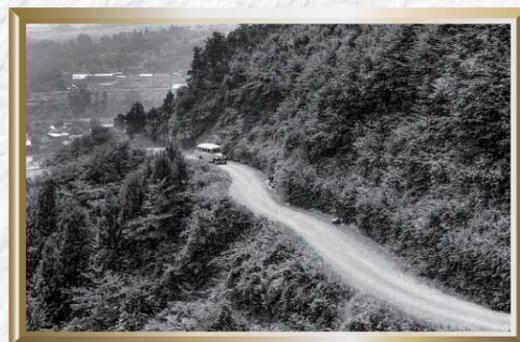
菅原小学校付近の桑畑。後ろに見えるのは八菅山。今では、たくさんの住宅が立ち並んでいます。



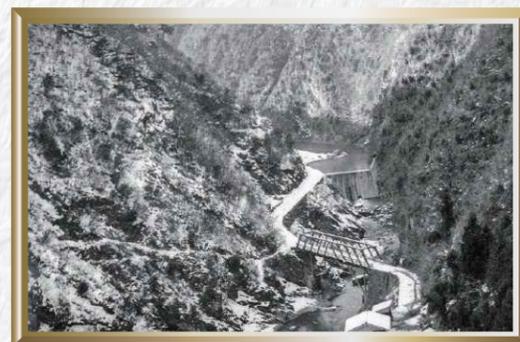
100年前の中津小学校の正門。校舎は鉄筋コンクリート造に改築され、正門も整備されました。



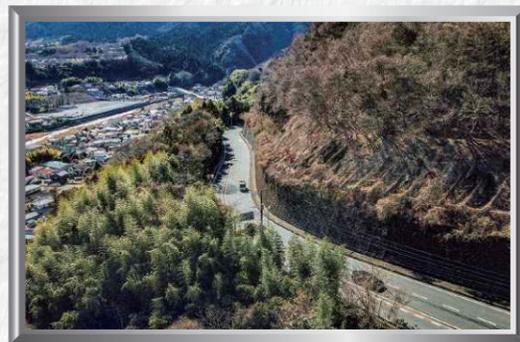
大正15年4月に半原宮大工によって建てられた半原小学校木造校舎。現存する県内最古の木造校舎として、今でも活用されています。



日向から日比良野に向かう真名倉坂。昔はガードレールもなく砂利道でしたが、国道412号として整備されました。



箱根や鎌倉と並ぶ観光地だった「中津溪谷」。今は宮ヶ瀬ダムに生まれ変わり、たくさんの観光客で賑わっています。



愛川タイムマシン ふるさとの過去を旅しよう!



愛川町に隠る 7つの謎を解き明かせ! Try! 7 Mysteries

全問正解で70周年記念グッズをプレゼント!
応募は10月31日までに!
正解は広報あいかわ11月1日号で発表!

応募方法: クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・
本誌の感想を必ずご記入の上、お送りください(1人1通)。
宛先: ◆はがき 〒243-0392 角田251-1
愛川町役場 政策秘書課 秘書広報班
(当日消印有効)
◆町ホームページ応募フォーム



- 謎・1 武田軍と北条軍が戦った三増峠の戦いは、どのような特徴を持つ戦いと言われている?
①山岳地帯での戦い ②大規模な水上戦 ③ITを活用した戦い
- 謎・2 宮ヶ瀬ダムがある場所がかつて神奈川県有数の観光地だったけど、その名前は?
①半原ナイアガラ ②中津溪谷 ③石小屋遊園地
- 謎・3 「糸のまち」と呼ばれた愛川町。半原や田代では撚糸業が発展しました。そのころ中津台地に広がっていたのは?
①カイコの餌となる桑畑 ②糸を売る巨大市場 ③洋服を販売するアパレルショップ
- 謎・4 半原から横須賀まで自然流下で水を送っていた「水道みち」。でも途中の「水道坂」は急な登り坂! どうやって水が登っていたの?
①強力なポンプを使っていた ②タンクローリーで上まで運んでいた ③「サイフォンの原理」で水が勝手に登っていった
- 謎・5 八菅山にゆかりの深い、修験道の開祖と呼ばれた、このヒトだれ?
①役小角 ②徳川家康 ③西郷隆盛
- 謎・6 小沢の地層で古代貝の化石を発見! どうして海から遠いココにあるの?
①古代のバーベキュー場があった ②約300万年前は海だった ③古代貝が海から川へさかのぼった
- 謎・7 内陸工業団地ができる前、ここはマサカの…
①羽田空港のサテライト滑走路 ②日本陸軍の飛行場 ③愛川町初の国際旅客空港



昔の愛川町って?

例えば、300万年前は海だった? きっと今からは想像できない景色が広がっていたに違いありません。そんなロマンあふれる太古から、愛川町の歴史をクイズで辿るタイムマシンの旅に出かけませんか?

- 愛川の四季 -

愛川町の豊かな自然は春夏秋冬それぞれに異なる表情を見せます。四季の移ろいをお楽しみください。



春

田代の桜並木

県立あいかわ公園

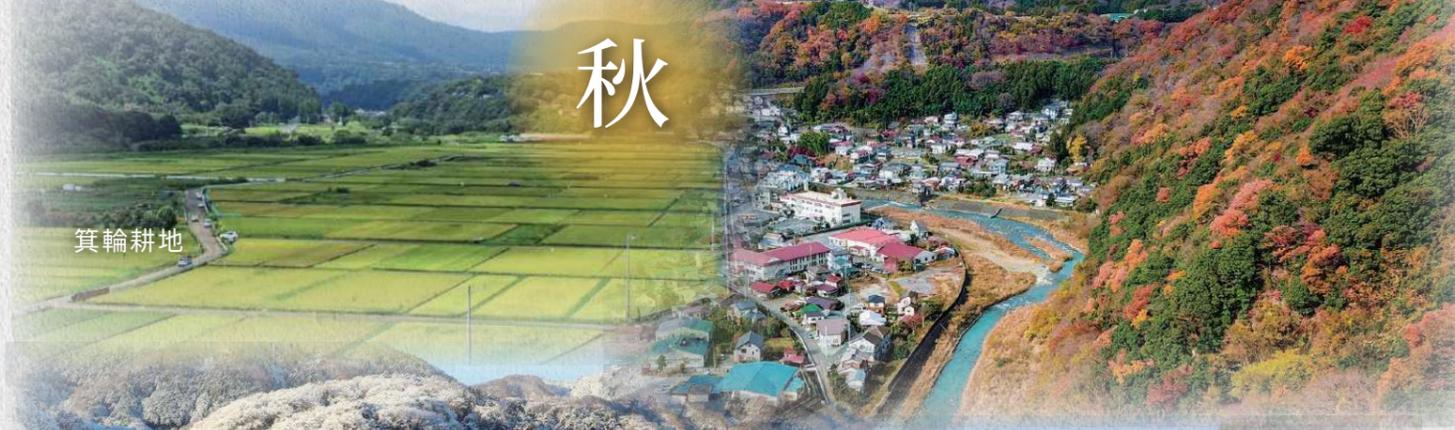


夏

鮎釣り

中津川

半原の紅葉



秋

箕輪耕地



冬

平山橋

古民家山十郎